

# あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006  
http://oak47-02.web.infoseek.co.jp

沖電気の職場を  
明るくする会

発行  
1986

「会」は沖電気とその関連企業で働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られた。正規・非正規を問わず誰でも入会できます。略称はOAKです。

☆「会」ではホームページでも相談を受けています。気楽にご利用ください。



11年ぶりに社長交代 篠塚勝正社長退任

川崎秀一社長へ

## 切望される 苦勞が報われる経営方針

□□□

1998年、「一度自ら灰になり再び不死鳥のごとく蘇る」(フェニックス21計画・合理化の表題)として始まった「構造改革」は同年就任の篠塚社長で今年まで続きました。

生産から海外生産へとシフト、従業員には成果主義を強いて人件費を抑えてきました。結果は、ものづくりや技術力が衰え、次々と事業の売却が続く、10年間で5回の赤字、自己資本比率(※1)は13%まで後退「企業存続の危機」が拡大したと言われます。

その経営戦略は「沖の強みを活かせる事業に集中し、一等企業を目指す」というものでした。

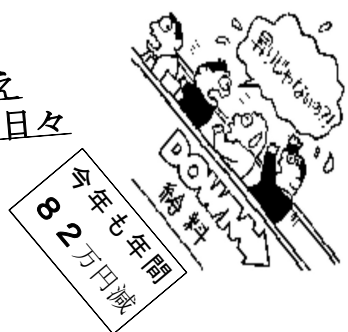
### 明るい展望が見えない

しかし、目先の利益を最優先し、毎年のように方針が変更されて、「事業の選択と集中」を繰り返し、自社製品にはこだわらず、国内

職場には「明確なビジョンが打ち出されていない。希望ももてる会社、安心して働ける職場を」「頑張る気持ち

雇用不安におびえ 賃金ダウンでの生活苦に耐え 夕ダ働きでノルマに窮する日々

ガマンも限界!!



### 新社長体制は真の「従業員は宝」 施策でスタートを

六月二十五日に行われる株主総会で、社長が交代の予定です。これまでの経営戦略を引き継ぐのでは展望のあるOKIは見えてきません。何よりもこれまでの戦略を見直し、技術とものづくりを大事にして、従業員が安心して生活ができ、やる気を起こさせる施策を求めています。



### 日本経済を生活者重視の施策へ

今、世界経済危機にたいして経営者は、危機打開策を更なるリストラ策とM&A(企業の合併・買収)で乗り切ろうとしています。外需頼みから国内需拡大へと転換し賃金・労働条件を引き上げ日本経済の循環をはかり、これまで企業利益優先からの大転換が必要。

※1) 自己資本比率  
総資産に占める自己資本の比率、  
09年3月期  
総資産 3970億円、  
自己資本 517億円

※2) 社長の退任後  
新任 篠塚 OKIの会長  
5月22日から情報機器ネットワーク産業協会(CIAJ) 会長

※3) 本体従業員数  
1998年3月期 10,166人  
2009年3月期 3,182人



新聞を読んでいて広島市の浦埋め立て計画が進められていくことを知り、

本日に日本という国は歴史や景観を大切にしない国だと思ふ。鞆の浦は江戸時代には朝鮮通信使(將軍の代替わり毎に来日)が宿泊した場所であり「日東第一形勝」と称賛された場所でもあり、ユネスコの諮問機関からも04年から3年続けて計画中止・保存促進を求める勧告を受けています。鞆の浦に限らず日本各地で大切な歴史や景観の破壊が進められており、いつになったらヨーロッパのような景観を大切に大人の国になれるかとやら、まずは反対運動に頑張れと応援したい。また、江戸時代の朝鮮通信使は江戸幕府と朝鮮国との善隣友好として徳川家康が豊臣秀吉の朝鮮侵略(文禄・慶長の役)後に朝鮮と国交回復を図って実現したもので、通信使は12回も来日しており、国同士の友好だけでなく教育・医学・絵画・書など一般の文化交流も行われており、各地にその遺跡や書・絵画が残されている。現代の日本は、通商関係での国際交流は活発だが国同士の信頼関係となると本心に信頼されがもてない

3月31日に「雇い止め」になった派遣労働者のAさんが、沖電気に直接雇用され職場配属が決まり、再び富岡工場で働きはじめました。

**OKI 富岡工場(群馬)**

**Aさんは労働者派遣法に従って「沖電気には直接雇用する義務が発生している」として会社に申し入れをして話し合いを続けてきました。**

**解雇(雇い止め)通告の派遣労働者が直接雇用になる**

話し合いの中では、お互い法律の解釈をめぐってすれ違いが生じていましたが、会社は現在の派遣労働者をめ

**直接雇用を決めたよ**

就職が非常に困難な状況を実感しているAさんは「再び沖電気で働けるようになった。これまで頑張った甲斐がありました。会社にも感謝しています。これからは一生懸命頑張りたい」と語っています。

《富岡からの投書》

# 市場原理主義では労働者も農業従事者の生活も破壊する 米生産者もワーキングプア

1995年にスタートしたWTO（世界貿易機関）のなになんでも自由貿易推進策の影響で世界の農業と食料が社会問題になっています。

日本は、米価の暴落で、稲作農家を生活危機に追い込み、減反を迫る無策です。

## 食料争奪戦争

バイオ燃料ブーム、輸入食料が危ない...

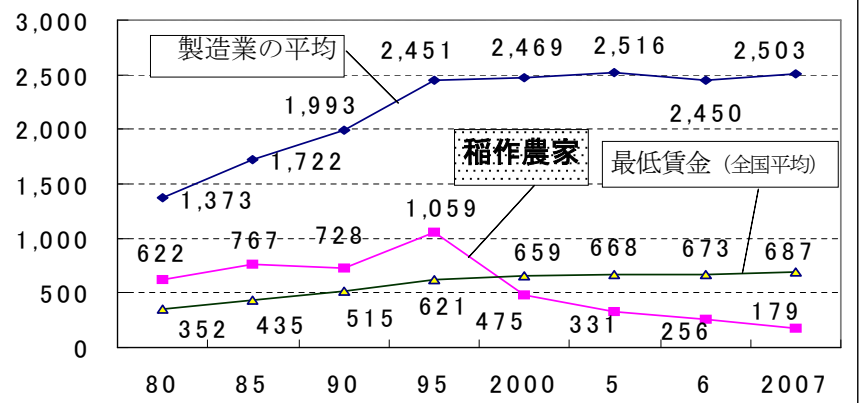
先進国の企業とマネーが農産物の貿易と流通を支配。飽食と飢餓、格差を拡大させ世界の食の安全と供給を脅かしています。

地球に暮らす人々が適切に食べる食糧の生産と分配の体制をつくること、その

## 日本の環境、食、農が危ない

日本は食糧管理法などを廃止して「自由化」を推進、穀物自給率は27%（世界175カ国中124位・03年）と低下。漁業や林業も危機を迎えている。

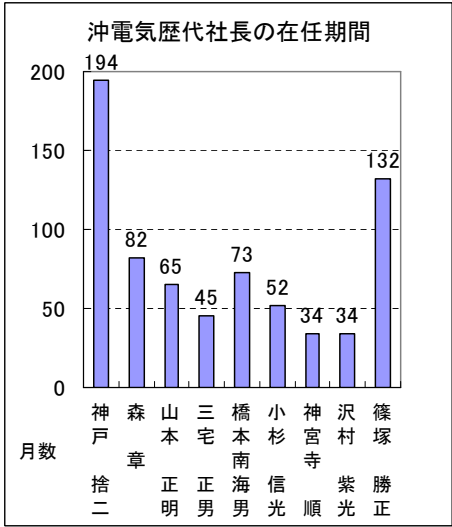
稲作農家の時給は179円（農水省の米生産費で試算）  
最低賃金（全国平均）の26% 《農民連資料から》



## 《沖電気を考える》 第21回

### ▼歴代社長の任期▲ 篠塚社長は2位・132ヶ月

沖電気は1881年に明工舎で発足して、現在は1949年11月の法人・沖電気工業株式会社として



氏名	期間
神戸 捨二	1949年11月～1966年1月
森 章	1966年1月～1972年11月
山本 正明	1972年11月～1978年4月
三宅 正男	1978年4月～1982年5月
橋本南海男	1982年5月～1988年6月
小杉 信光	1988年6月～1992年10月
神宮寺 順	1992年10月～1995年8月
沢村 紫光	1995年8月～1998年6月
篠塚 勝正	1998年6月～2009年6月
川崎 秀一	2009年6月～

篠塚社長の11年は、7度の赤字でリストラの連続。

☆川崎秀一・新社長☆  
1947年1月生  
早大法学部卒、1970年沖電気入社

## 「あきらめない」 立ち上がる労働者急増

昨春秋以降、数十万人という規模の「首切り」に対して全国で、労働組合の新規結成が110、既存組合への加入125、新たに組合加入は5千人を超え、闘いが広がっています。（09年5月）



## 「法人税法改正」で減税 ロームは赤字から黒字へ

海外連結子会社の将来配当金が非課税になり、税負担を500億円も減少させたロームは連結決算を赤字115億円から黒字96億円に修正した。従業員に還元はないの？

何処へ行った長椅子がある「憩いの広場（休憩所）」

【本庄】

12年前、ジャストインタイム（JIT）生産方式導入時、立ち作業従事者の腰痛防止のために疲れた時、すぐに座れるよう、ライン（職場）の近くにイスを設置するように労働基準監督署が指導しました。そして、長椅子が置かれた「憩いの広場」と呼ばれる場所が設けられました。



働いている人たちがばかりです。職場の労働者が「もういい加減に沖電気で仕事したら」と声をかけると「俺たちは沖電気で働けないんだって。誰だってここで働きたいよ」という答えでした。

勤務時間中にすぐ座るといいうわけには行きませんでした。が、昼休みや、休憩時間には椅子に座って休憩する人が多く見かけられました。

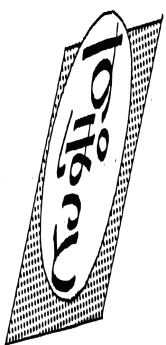
ところが、最近になって、レイアウトの変更などで、「憩いの広場」が隅っこに追いやられ、今では何処にあるのか場所を探しても見つからなくなっています。製造現場の組立て部門はすべて、立ち作業です。当初の目的のように立ち作業従事者の健康のためにもラインの近くに椅子を設置すべきです。

おかしな制度です。沖電気の社員なのに、沖電気で働かないで沖電気がまったく関係のない企業で働き続けなければならぬ。仕事が多忙で派遣社員を採用していても、ベテラン社員を外で働かせ続ける。人件費を問題にしている企業がやることでしょうか。

「本人のやる気を仕事に生かす」目的で毎年行なわれる職場上司とのCDP（能力開発計画）面接ではどの様な説明をしているのか聞きたいものです。働かせ方に問題ある制度は無くすべきです。

「物わかり良い」労組  
ほどほどに！  
【福島】

在籍出向が専門職場「キャリア開発チーム」  
必要ですか？  
【群馬・富岡】



五月に入って、外部企業に在籍出向していたメンバーが職場に戻ってきました。出向が主な職務とされているキャリア開発チームの人たちです。出向先企業の仕事量が減ってきたために戻されたと言います。もう何年も外部企業で

OKIグループの全ての企業に賃金カットが押し付けられています。OEF（沖エアフォルク）やOEFプロテックも今年の春闘時に、5%の賃下げなど労働条件がまた下げられました。生活のため「たばこをやめた」という人もいます。

OEFでは10年前「成果主義」の名目で約3分の1の賃金も20万円程度に引き下げられました。その後定昇もな

今、職場の心配事と言えば何といても「緊急対策」です。給料とボーナスの大幅減額が家計を直撃しています。「減額は年収で100万円以上、ローンと家族かかえてやっつけていけない」「給料カットはずっと続くかも」など心配はつきません。さらに「会社は大丈夫か」という心配が加わります。「会社はあと一年もつか、この歳で失業したら困る」「八王子では希望退職で沢山やめさせられた」など、心配の種は尽きません。「組合は何をしているのか、会社の代わりに一生懸命説明しているだけ」と苛立ちの声も。安心して仕事ができる職場からはますます程遠い現状に、沖労組への風当たりも強まるばかりです。

今度は製造部門全員の請負会社へ転籍出向  
【OKIセミコンダクタ】

今期黒字、来期も黒字予想のロームが買収したOKIの半導体事業（OKIセミコンダクタ）では、首切りが続いています。八王子の縮小の次は、秋までの予定で宮城や宮崎の製造部門全員の退職↓請負会社への転籍攻撃です。人をモノ扱いにする「合理化」に対して職場には不安・不満の声が大きくなっています。